

筑波経済月報 No.143 2025.6

■ 企業探訪

地域の安全の守り手という使命を果たしていきます

大昭建設株式会社

■ 支店長のわがまち紹介

奥久慈に輝く日本一幸せなDAIGO

大子町

■ 常陸時代の佐竹氏 -500年の軌跡を追う- (第18回)

石田三成の下で忍城水攻め

■ 研究員レポート

パリのイノベーションエコシステム

～ 大学発スタートアップと政府・自治体の取り組み ～

■ サステナブルな社会に向けて (第3回)

廃棄物回収・処理システムのアップデート

筑波総研 株式会社





太子町の滝風景



(写真提供／太子町)



袋田の滝(ふくろだのたき)

日本三名瀑に名を連ねる国名勝袋田の滝は、高さ120m、幅73mの大岸壁を四段に落下することから別名「四度の滝」と呼ばれ、春は新緑、夏は水音がこだまし、秋には紅葉、冬には氷結の静寂と四季折々に織りなす滝の造形で、訪れる方々に癒やしと感動をもたらしています。

古くから文人墨客が訪れ、作品の題材となっているほか、トンネルを通して滝の目の前までアクセスできることからバリアフリーかつアクセシビリティの高い観光名所として国内外からたくさんのお客様が訪れています。

- ◆袋田の滝 茨城県久慈郡太子町袋田3-19
- ◆生瀬滝 茨城県久慈郡太子町小生瀬1620
- ◆月待の滝 茨城県久慈郡太子町川山1369-1
- ◆お問合せ 太子町観光商工課 電話0295-72-1138

生瀬滝(なませたき)

生瀬滝は袋田の滝の上流部に位置し、月居山ハイキングコースの途上、深山の峽に白布を干す落差15mの滝です。規模は大きくないながらも、兩岸絶壁の美しい滝は周囲の溪谷と調和して、癒やしの風景を作り出しています。



月待の滝(つきまちのたき)

久慈川の支流生瀬川(なませがわ)が作り出す落差17m幅12mの三筋に流れ落ちる月待の滝はその珍しい形状のためか、古くから安産、子育て、開運を祈る二十三夜講の場として利用されたことから名付けられました。また、水に濡れることなく滝をくぐるができることから、ユニークな写真を撮れるスポットとして人気を博しています。

